

---

# 魔法少女リリカルなのは ～大空と大地～

紅の牙

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは ～大空と大地～

### 【Nコード】

N0993Z

### 【作者名】

紅の牙

### 【あらすじ】

神様に間違っつて殺された少年はREBORNの力をもらってリリカルなのはの世界に転生した。さあ、原作ブレイク、つて住んでる所ミッド!?ブレイクできないじゃん!?主人公は準チートです。それでもよろしければ見てください

## プロローグ

「……………」

俺は真っ白な空間に立っていた

「……此処、どこ？」

俺は訳が分からなかった

「確か俺は、REBORNを読んでいたんだよな。つで、急に目眩がして……さっぱり解らん」

「あゝ」

「うん？」

俺が記憶を思い出していると、後ろから声を掛けられた。振り向くと、そこには聖闘士セイヤに出てくるサーシャさんそっくりな人がいた

「どちら様ですか？」

「あ、すみません。私はアテナと言います」

「マジですか!?(何でこんなにそっくりなの!?)」

「それで、．．すいませんでした!!」

アテナ様が俺に頭を下げた

「謝れる理由が解らないんですが」

「実はですね、貴方は死んでしまっただんです」

「な、何だと．．．」

「私の部下が、間違つて貴方の書類にハンコを押してしまつて．．  
」

「それで、死んじゃつたと」

「．．．はい」

「．．．それで、俺はこのまま天国にGOなんですか？」

「．．．怒らないんですか？」

「貴方に怒つた所で俺が生き返るわけじゃないですからね」

「そうですね。それで、先程の答えですが。貴方には他の世界で  
新たな命で生きてもらいます」

「ほうほう」

「行先は『リリカルなのは』の世界です」

「ちよつて待て！！リリカルなのはつてアニメですよね！？」

俺はアテナ様の言葉に待ったをかけた

「貴方は平行世界つて知ってますか？」

「ええ、知ってますけど。それが……ああ、成程」

俺は理解し手を叩いた

「つまり、俺の世界ではアニメでも平行世界では現実としてある。そう言うことですね」

「はい、その通りです。それで、お詫びとして、4つまで貴方に力を与えます。何がいいですか？」

「ふ〜む」

俺は考え始めた

「じゃあ、REBORNの『大空』、『大地』の炎。ツナの『超直感』。ナツツ、正し、ボックス兵器じゃなくて、キャロのフリード見たいな感じ。後はデバイスかな」

「……」

「どうしたんですか、ハトが豆鉄砲を喰らったような顔をして？」

「い、いえ。他のひとは仮面ライダーの変身ツールだとか、王の

財宝などを頼んでいたものですか」

「あく成程。俺は努力して力を得るタイプなんで。まあ、超直感  
はチートだけだ」

「解りました。デバイスと使役獣にかんしては後でお送りします」

「はい、ありがとうございます」

「では、貴方の歩む道に幸のあらんことを」

アテナ様がそう言うと、俺の意識が再び途切れた。そして

「おぎゃああああ・・・解ってはいたけど。まさか、また赤ん  
坊からとはな」

こうして、俺の新たな人生が始まった

## 第1話

仁 side

どうも、火群仁です。なのはの世界に転生してから、早10年、早いもんだね。まあ、俺のいる所が海鳴市でなく、ミッドだったのは驚いたが、更に驚いたのが、父さんと母さんの容姿がREBO RNのツナと京子で、しかも名前まで同じきたからさあ大変

「ガオ！」

「おっと、サンキューナッツ。お蔭で、ぶつからずに済んだ」

「ガウ」

俺は肩に乗っている、相棒のナッツに礼を言った。ナッツと会ったのは6年前、家の庭の隅で丸まって寝ているのを見つけ、そのまま飼うことになった

「そう言えば、父さんが今日渡したいものがあるって言ってたけど、何だろっな」

「ガウ？」

「ナッツに聞いても解らねえか。まあ、楽しみにしてよっぜ」

「ガウ」

そして、その夜

「仁、こっちに来てくれないか？」

「うん」

俺は父さんに呼ばれ、リビングに降りてきた

「あれ、母さんは？」

「お風呂だ」

「あ、成程」

「仁、今朝言ったこと覚えてるか？渡したいものがあるって」

「うん」

「これを、お前に渡す」

父さんは俺に小さな箱をくれた

「……これは？」

「開ければわかるよ」

そう言われ、俺は箱を開けた。開けるとそこにはリングが入っていた

「父さん、これって・・・」

「うん、仁のデバイスだよ。仁は魔法と格闘の基礎が出来てきたからね、そろそろ渡してもいいと思ってね」

「俺の・・・デバイス」

「起動させてご覧」

「う、うん」

俺は箱からリングを取りだし、指にはめた。そして、魔法陣を展開した

「マスター認証、火群仁。術式は近代ベルカ。正式名称『レグルス』」

『認証確認、よろしく頼むぜ旦那』

「だ、旦那!？」

俺はレグルスの発言に驚いた

「レグルス、これから仁の事をよろしく頼む」

『まかせて下せえ、親方』

その後、俺は父さんにレグルスの性能を聞き、明日稽古をつけてくれると約束したので、興奮しながらベッドに向かった

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0993z/>

---

魔法少女リリカルなのは ~大空と大地~

2011年12月3日20時48分発行